

授業科目名	視聴覚教育論
科目番号	CB23041
単位数	2.0 単位
標準履修年次	2 年次
時間割	秋ABC 集中
担当教員	小松 孝太郎
授業概要	視聴覚教育が果たす役割および視聴覚教材の構成とその運用について文献と最近の話題から検討する。
備考	社会教育主事 学芸員 西暦奇数年度開講。 対面
授業方法	講義
学位プログラム・コンピテンスとの関係	汎用コンピテンス 3. データ・情報リテラシー 専門コンピテンス 2. 教育学の基礎的体系的知識 3. 教育学における総合的考察力
授業の到達目標（学修成果）	・教育活動を支え、実現する上で不可欠なデジタル教材・ツールに関する知識・技能を得る。 ・視聴覚教育に関する知識・技能を応用して、デジタル教材・ツールを効果的に活用した授業やワークショップの具体的な計画を立案できるようになる。
授業計画	前半は、デジタル教材・ツールを活用した授業やワークショップを実践するための基礎として、ICT活用教育の意義や歴史的展開、いろいろな場面でのデジタル教材・ツールの利用についての講義と演習を行う。後半は、前半で学習した知識を踏まえて、デジタル教材・ツールを活用した授業やワークショップの具体的な計画を構想し、それにそって指導・実践する提案を行い、教育における効果的なICT活用方法について考える。 授業は土日4日間の集中講義（対面）で行う。詳細は決まり次第連絡する。 第1回 オリエンテーション 第2回 メディアとは 第3回 メディアとは 第4回 デジタル社会の系譜 第5回 デジタル社会の系譜 第6回 学習指導要領と情報活用能力 第7回 学習指導要領と情報活用能力 第8回 視聴覚教育を支えるデジタル教材・ツール 第9回 視聴覚教育を支えるデジタル教材・ツール 第10回 デジタル教材の活用と著作権 第11回 デジタル教材の活用と著作権 第12回 対話的な学びを実現するICT活用 第13回 対話的な学びを実現するICT活用 第14回 深い学びを実現するICT活用 第15回 深い学びを実現するICT活用 第16回 ICT活用授業の構想 第17回 ICT活用授業の構想 第18回 ICT活用授業の発表 第19回 ICT活用授業の発表

授業計画	第20回 授業のまとめ
履修条件	
成績評価方法	授業での取り組み（20%）とレポート（80%）を総合して判断する。
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	授業で扱った内容の復習を行うこと。また、興味を持った内容に関して、自分で関連文献を調べて考察すること。
教材・参考文献・配付資料等	特に指定しない。
オフィスアワー等（連絡先含む）	
その他（受講生にのぞむことや受講上の注意点等）	・授業中にパソコンを使用するため、ネットワーク接続可能なノートパソコンかタブレット端末（キーボード付き、スマホは不可）を各自持参すること。
他の授業科目との関連	
ティーチングフェロー（TF）・ティーチングアシスタント（TA）	
キーワード	デジタル教材・ツール，情報活用能力，視聴覚教育，ICT活用教育